

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	エスポワール西淀川		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 19日		2025年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 19日		2025年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 13人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の広さ、過ごしやすさ	生活空間と分けて訓練ルームを設け、子どもたちがメリハリをつけて様々な活動が行えるようにスペースを工夫している。また床材も工夫しスポンジ素材を採用。転倒時にも衝撃を吸収してくれる。入浴も生活空間から少し離れているが、ペルにてスタッフを呼べるよう工夫を行っている。	部屋が分かれている分スタッフが少ないときは、一方の部屋のみを活用にしないと目が離れる可能性が考えられる。スタッフの動き方やその際に考えられる危険性を常に考え、状況に応じて行動していく必要がある。
2	スタッフ間での連携・共有ができています	研修や訓練を安全計画における年間計画を作成したことで毎月必要な訓練・研修を漏れなく実施できている。その中で不明点や共通認識として知っておいてほしいことはしっかりと情報共有を行えている。わからないことをそのままにしないようにする習慣を癖づけるよう心がけている。	全員が把握できていなく一部のスタッフしか知らないなどの周知が薄い部分がある。こまめに連絡をとり、周知を今後も徹底していく。
3	保護者が事業所の支援に満足している。	日々のさまざまな遊び、季節の行事も活動に取り入れていたり、参観やお出かけなども充実させていることや、機能訓練職員を配置したり、活動の様子を日々SNSにて発信していることで普段の様子を知ってもらえる機会を設けている。今年度より安全教育として資料の配布も実施している。	研修や訓練の様子、年間計画や安全点検の内容など、知っていただくためにも、来年度は資料の配布を検討中。より安心して利用しているのだからと感じてもらえるようにより分かりやすい周知を心がけていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部の研修への取り組みが不十分	ケアについての研修はオンラインにて研修する機会もあったが、スタッフ数名で外部の研修に参加する機会を設けられていない。	研修が近くでないか情報収集や共有を行い、興味のある内容に関しては積極的に参加できるように声掛けを行う。
2	事業所の説明や緊急時の説明など(災害時・感染症対策・虐待防止法・個別支援プログラム)詳しい説明が不足している。	契約時にマニュアル等の説明、訓練などの取り組みについての説明が不十分である。	今年度は安全教育として訓練の実施内容について周知。来年度からは年間計画を配布し、実際にどのようなスケジュールで研修等を実施予定なのか周知していく。
3			